

令和7年度 沖縄県高等学校新人体育大会

第51回沖縄県高等学校新人空手道競技大会実施要項

- 主 催 沖縄県高等学校体育連盟・沖縄県教育委員会
後 援 公益財団法人沖縄県スポーツ協会・NHK 沖縄放送局・琉球新報社・沖縄タイムス社
株式会社ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送株式会社・琉球放送株式会社・琉球朝日放送株式会社
主 管 沖縄県高等学校体育連盟空手道専門部・一般社団法人沖縄県空手道連盟

1. 期 日 (1) 開 始 式 令和7年10月25日(土)
(2) 競 技 令和7年10月25日(土)～27日(月)
2. 会 場 (1) 開 始 式 沖縄県立那覇国際南部農林高等学校 体育館 9:30
(2) 競 技 25日: 沖縄県立那覇国際南部農林高等学校 体育館 10:00 開始
26日～27日: 沖縄空手会館

3. 競技規定 (公財)全日本空手道連盟制定の競技規定・審判規定に準じて行い、運用については(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の競技規定及び申し合わせ事項による。

※安全具・空手道衣について

(1) 組手競技では男子5点、女子4点の安全具を着用すること。

① ニューメンホーⅥ・Ⅶ(全空連検定のもの)

② 拳サポーター(全空連検定のもの)

③ ボディプロテクター(高体連指定または全空連検定のもの)

④ シンガード・インステップガード(高体連検定または全空連検定のもの)

⑤ セーフティカップ[男子のみ]… 空手道衣の下に着用すること

(2) 空手道衣については全国高体連空手道専門部の申し合わせ事項による。

4. 競技方法

(1) 組手競技について

① 学校対抗とする。

② 組手の団体戦、個人戦ともトーナメント方式とする。(但し5人制団体戦のベスト4はリーグ戦を採用する。)

※参加校が3チームの場合、3校リーグを行う。

③ 組手の試合時間は、2分間とする。8ポイント差が生じた場合、または時間終了時のポイント数で勝敗を決す。

(2) 形競技について

① 団体形は得点制で行い、予選は第1・2指定形、準決勝・決勝は得意形(決勝は分解あり)とする。但しそれぞれの回戦において同一の形を演武してはならない。

② 個人形は得点制で行い、予選は第1・2指定形、準決勝・決勝は得意形とする、但し、それぞれの回戦において同一の形を演武してはならない。

③ 指定形および得意形は、全空連競技形リスト(令和7年4月1日制定)から選択しなければならない。

※競技方法については、県新人抽選会および監督会議の際に確認致します。

5. 競技種目

(1) 男子団体形 (2) 男子個人形 (3) 男子団体組手5人制 (4) 男子団体組手3人制 (5) 男子個人組手(-55Kg、-61Kg、-68Kg、-76Kg、+76Kg) (6) 女子団体形 (7) 女子個人形 (8) 女子団体組手5人制 (9) 女子団体組手3人制 (10) 女子個人組手(-48Kg、-53Kg、-59Kg、-66Kg、+66Kg)

6. 計量について

(1) 男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。

(2) 実施日時 10月25日(土) 8:15～9:15

(3) 服 装 計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ、下衣はスパッツ(ハーフサイズ)とする。
(包帯・サポーター等の着用を認めない)

7. 参加資格

- (1) 沖縄県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の1・2学年に在学する生徒であること。
- (2) 当該種目の全国高等学校総合体育大会要項に定める資格の該当者であること。
- (3) 令和7年度沖縄県空手道連盟に登録済みの者であること。
- (4) 平成19年(2007年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。
- (5) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住等やむを得ない事情の場合は、所属高等学校長の申請により、県高体連会長の認可があればその限りではない。
- (8) 上記の条件に違反した場合、または高等学校生徒としての品位を欠いた場合等には出場を取り消すことができる。
- (9) 同一選手が2競技にまたがって出場することは原則として認めない。
- (10) 学校感染症に罹患している生徒の大会への出場は認めない。
- (11) 参加資格の特例
上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ、大会参加資格の別途に定める規定に該当する生徒の大会参加を認める。

8. 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める該当校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し「部活動指導員」引率を委嘱する校長は、沖縄県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は高体連に登録するとともに、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等に必ず加入することを条件とする)。

9. 参加制限

- (1) 団体戦 1校男女各1チームとし、監督、コーチ、マネージャー、各1名とする。
組手5人制は男女各5名、補欠3名、組手3人制は男女各3名、補欠1名。
形は、男女各3名、補欠3名とする。
※団体組手は5人制か3人制のいずれかを選択すること。
- (2) 個人戦 組手は男女各8名、形は男女各4名以内とする。
- (3) 外国人留学生の参加については、団体正選手の過半数を超えない範囲で認める。

10. 参加申し込み

- (1) 参加校は、選手団を編成し、沖縄県高等学校体育連盟ホームページより所定の参加申込用紙(Excel)をダウンロードし、必要事項を入力する。
- (2) 上記(1)の「申込用紙」を1部作成・印刷し、学校長の決済(公印)を受け、PDF化する。
- (3) 上記(2)の「PDFファイル」と(1)の「Excelファイル」を期日までに専門委員長へメールで送信する。
その際、ファイル名は「加盟校番号△.〇〇高校(例:35.那覇国際高校)」とすること。
- (4) 申し込み先(郵送ではなくメールによるデータ送信)
宛先 専門委員長:山崎太志(那覇国際高校) E-Mail:yamaskid@open.ed.jp
- (5) 申し込み締切 令和7年10月1日(水)

11. 大会参加費

参加申込生徒1人当たり300円とし、参加申込書に記載された選手数(マネージャー、補助員等は除く)を乗じた額とする。

12. 抽選会及び監督会議 令和7年10月9日(木)14:00 沖縄空手会館 研修室

※本会議は、大会運営上重要な会議であるため、参加校の監督または引率責任者(代理可)は必ず出席するものとする(離島校を除く)

13. 表彰 優勝チームには賞状・優勝旗・メダルを、2・3位チームには賞状を授与する。 個人優勝には賞状・メダルを、2・3位には賞状を授与する。

Ⅰ 4. 連絡事項

- (1) 個人情報保護については「沖縄県高体連個人情報保護方針」に従って取り扱う。
- (2) 引率責任者のいない学校の出場は認めない。
- (3) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側で行うがそれ以上の責任は負わない。
- (4) めがねの使用は形・組手ともに禁止する。但し、ソフトコンタクトレンズは各自の責任において使用できる。
- (5) その他の注意事項は沖縄県高体連空手道専門部申し合わせ事項に準ずる。

※選手の服装・頭髪等に違反があった場合は1分間ルールを適用する。

- (6) 大会初日及び2日目は、参加校の空手道部員は8：00までに会場に集合し、全員で会場作成を行うこと。
- (7) 外部指導者は、高体連外部指導者登録証を持参し、明示すること。
- (8) 全国高等学校空手道専門部指定のゼッケンを着用すること。